

<報道発表資料>

平成 26 年 6 月 18 日

産業振興施策

日本光電工業（株）が所沢駅前に総合技術開発センターを建設
日本光電工業（株）荻野代表取締役会長が知事に報告

(同時発表： 所沢記者クラブ)

世界トップシェアの脳波計をはじめ、数々の医療機器を世界中に提供している医療機器製造大手の日本光電工業株式会社（東京都新宿区）は、所沢駅前に総合技術開発センターの建設を決定しました。新製品開発のスピードアップと競争力強化を目指し、技術開発部門と関連部門を集約・移転させます。稼働は、平成 28 年春の予定です。

6 月 20 日（金）に、同社の荻野和郎（おぎの・かずお）代表取締役会長が県を訪れ、上田知事に報告します。

●訪問日程

- | | |
|---------|---|
| 1 日時 | 平成 26 年 6 月 20 日（金） 10:40～10:55 |
| 2 会場 | 知事室 |
| 3 来訪者 | 日本光電工業株式会社
荻野 和郎（おぎの・かずお） 代表取締役会長
白田 憲司（はくた・けんじ） 取締役専務執行役員
長谷川 正（はせがわ・ただし） 理事 ほか |
| 4 県側対応者 | 上田知事、山中産業労働部長 |

●総合技術開発センター建設について

・技術開発部門である西落合事業所（東京都新宿区）が、所沢駅前に建設する総合技術開発センターに移転します。また、東中野事業所（東京都中野区）、川本事業所（深谷市）、鶴ヶ島事業所（鶴ヶ島市）に分散している技術開発部門及びデザインなど関連部門も集約し、同社の開発拠点となります。

・川本事業所（深谷市）は、今後も試験設備の拠点並びに電極などの付随製品の製造を担い、

鶴ヶ島事業所（鶴ヶ島市）は主に物流拠点として引き続き、機能を果たしていきます。

・施設の概要

所在地：埼玉県所沢市くすのき台1-1

着工：平成26年12月予定

完成及び移転時期：平成28年春予定

延床面積：約15,800㎡ 地上10階建て

総投資額：約70億円

※上記のほか、隣接する西武第二ビルの一部を賃借します。

●日本光電工業株式会社の概要

- | | |
|----------|--|
| 1 商号 | 日本光電工業株式会社 |
| 2 設立年月日 | 昭和26（1951）年8月 |
| 3 資本金 | 75億4,400万円 |
| 4 事業内容 | 医用電子機器の開発・製造・販売 |
| 5 売上高 | 1,531億円（平成26年3月期） |
| 6 従業員数 | 4,495名 |
| 7 国内生産拠点 | 富岡工場、富岡第二工場、川本事業所（深谷市） |
| 8 県内事業所 | 川本事業所、鶴ヶ島事業所（鶴ヶ島市）
（販売会社）日本光電北関東（株）（さいたま市）、同川越営業所 |

●主な製品

「脳波計 EEG-1200 シリーズ」



「生体情報モニタ」



「AEDリモート監視システム」

